

# 都営地下鉄施設内における 案内・警備ロボット実証実験の意義

(ホストシティTokyoプロジェクト)

## ○ 実証実験としてロボットを地下鉄に設置

- ・ 先端技術の社会実装前には、現場での検証・確認が不可欠
- ・ ロボットの実証の場として  
多様な利用者が行き交う地下鉄の駅を提供

2020年、東京をICTのショーケースに

# 実験ロボット一覧（案内）

## ・ 公募・選定（4機）

名称	ARISA	デジタル警備員	エキボ	EMIEW-TT
外観				
事業者	(株)アルゼ ゲーミング テクノロジーズ	テイケイ(株)	日本信号(株)	(株)日立ビル システム

# 実験ロボット一覧（警備）

## 公募・選定（4機）

名称	マルチ機能・自律巡回ロボット	Reborg-X	セコムロボット X2	トラデカ
外観				
事業者	オムロン ソーシアル ソリューションズ(株)	総合警備保障(株) (ALSOK)	セコム(株)	(株)ランザス

## スケジュールなど

**日程** 平成30年12月10日（月）～平成31年2月末

- 場所**
- ・案内：大江戸線都庁前駅都営交通案内所、  
大江戸線上野御徒町駅ツアーリスト  
インフォメーションセンター
  - ・警備：大江戸線国立競技場駅、大江戸線大門駅、  
大江戸線新宿西口駅、新宿線馬喰横山駅